



執行役員 人財開発部長  
**植木 克彦**さん

## 株式会社大分銀行

住所：大分市府内町3丁目4番1号

業種：金融業

従業員数：1,825人（男性1,041人・女性784人）

※従業員数は令和2年8月1日時点

### 女性活躍推進宣言

- ▶ 2021年3月末までに、支店長代理級以上の管理、監督職に占める女性割合を12%以上とします。
- ▶ 2021年3月末までに、管理職に占める女性割合を3%以上とします。

## 時代の変化とニーズに合わせて新しい活躍の場を

### 女性活躍に特化した支援を整備

当行は2019年に大分県内では2社目、県内金融機関では初となる「プラチナくるみん」企業として認定を受けることができました。女性の活躍推進の取り組みを本格的に始めたのは「ダイバーシティ推進チーム」を人財開発部に発足した2015年。女性対象の研修内容やプログラムの新たな追加等をはじめ、現在4名体制で女性の活躍を中心にこなしています。

若手女性行員向け研修としては、「次世代女性リーダー養成研修」と位置づけ、20代後半から30代前半の行員の中から選抜。キャリアデザインの課題や壁と解決法など、外部講師を招いて2日間、研修します。2年に1回開催する「女性役職者マネジメントスキルアップ研修」は、リーダーシップの実践力を発揮する経営的視点を磨き、マネジメントスキルを向上させることを目的とする研修。管理職・役職者になろうという意欲のある40代の行員を選抜しています。

### 女性のための新たな環境づくり

以前は女性行員が窓口対応、男性が融資係という印象が強かったと思いますが、現在は仕事に関する男女の垣根はなく、女性が融資係に携わることが多くなりました。また、新卒採用で女性の割合が6割近くとなり、その多くが融資係を希望しています。そこで「事業性融資に携わる女性得意先係」プログラムをつくり、年間3～4名を選抜。上司とマンツーマンで法人営業・法人融資について学ぶ内容で、2年間かけてしっかりと育成します。他県に比べて大分県の企業は女性の代表者も多く、ニーズや課題に対するきめ細かな対応や心配りなど、女性の得意先係への評価は年々高まっています。

また、性別に関わらず、優秀な人材が働き続けられる環境を整えるためには、個々のライフスタイルやライフイベントに合わせて柔軟に対応する制度が必要です。以前は結婚を機に女性が退職するケースも多かったのですが、帯同制度やジョブリターン制度・復職前面談等、産休・育休、復職サポートは時代やニーズに応じて常に改良することで結婚を理由とした離職率は低下しています。「パパママセミナー」には夫婦の参加者も増え、家庭と仕事のバランスや両立を積極的に学んでいます。現在は「育児休業中でも自身のキャリアアップを目指したい」「休業中も会

社や社会とリアルタイムでつながりたい」という要望を受け、オンラインツール「自宅学習サポートシステム」を動画視聴できる等バージョンアップ中。遠隔地勤務でセミナーに参加するのが難しい行員もオンラインで学習の機会を得ることができる日も目前です。

### 主体性のある人材育成が急務

今、全行員に求められるのは、自身のキャリアビジョンを明確にし、自立的に成長する姿勢です。時代とともに銀行のあり方も変化していく中、単一的な価値観ではなく自分で考えて自分で動ける人材の育成は急務です。当行は全行員のうち20代～30代の行員が約50%を占めています。若い行員が今後の変化にどう対応していくのか、どんな新しい環境をつくっていくのかを期待しつつ、我々も止まることなく全行員がパワーを十分に発揮できる環境づくりに邁進していきます。



仕事と家庭の両立を男女ともに学ぶパパママセミナー

**【取組内容】** ◆女性の職域拡大のため、「事業性融資に携わる女性得意先係」プログラムによる法人営業人材の育成 ◆ワーキングマザーの継続就労支援として「パパママセミナー」「育児休業復職前面談」、女性行員向けに「若手女性行員向け研修」「育児休業復職者向け研修」「女性役職者向け研修」「行外研修への派遣」を行っています ◆2015年10月に人財開発部にダイバーシティ推進チームを発足（4名で女性の活躍を中心に行う） ◆2020年度はキャリアに特化した面談を「1on1」で実施